

科目名		言語療法技術 I			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科4年		必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

聴覚障害の分類、原因と発達段階に沿った聴力検査の方法、補聴器の装用と聴能訓練について学び、療育と就学問題、家族の援助方法について考察する。

〔授業全体の内容の概要〕

聴覚障害の分類、聴力検査の方法、補聴器の装用と聴能訓練、療育と就学問題、家族の援助方法

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

国家対策につながるような実践的知識の集積

回数	講義内容
1	聴覚機能評価
2	〃
3	〃
4	聴覚活用(聴覚学習、トータル・コミュニケーション)
5	〃
6	〃
7	〃
8	発声発語訓練
9	〃
10	聴覚障害児・者ケース例
11	〃
12	〃
13	〃
14	〃
15	まとめ

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
言語聴覚士テキスト 第3版	大森孝一ほか	医歯薬出版株式会社

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。